

コロナ・ハードトップ新発売 わが国初のハードトップ・タイプ

トヨタ自動車販売株式会社はコロナ・シリーズの新車種としてコロナ・ハードトップおよび同トヨグライド付とコロナ・ハードトップ一六〇〇Sの三車種を七月一日より全国一斉に発売する。価格（東京店頭渡し）はコロナ・ハードトップが七十五万八千円（トヨグライド付は五万五千円高）、コロナ・ハードトップ一六〇〇Sが八十四万八千円で当初月産は合計千台の予定。これでコロナ・シリーズは乗用車だけで十一車種となり一層の多様性を示すこととなった。

今回新発売したコロナ・ハードトップは、最近米国で変り型乗用車として人気の高いハードトップ・タイプをわが国ではじめて採用したクーペ・スタイルの乗用車で、コロナで定評のあるさん新なスタイルとすぐれた高速性能をベースに、より一層の美しいシルエットと豪華な雰囲気を取り入れた四人乗り二ドアハードトップである。

個人オーナー層の拡大にともないユーザーの好みもさらに幅広く変化してきているが、コロナ・ハードトップはこうした顧客の要望にこたえ、コロナのもつ多くの特長を生かしてセダンとは違った個性的なムードをもたせることを狙いとして設計されたもので、センターピラーのないハードトップ・タイプの特性を最大限に盛り込み、スポーティな感覚が強調されたパーソナル・カー的な乗用車となっており、あわせてファミリー・カーとしても十分に使用できるよう四人乗り乗用車としての機能も備えている。

またコロナ・ハードトップ一六〇〇Sは本格的なスポーツ仕様を装備したグラウンド・ツーリング・カーで、スポーツ・カーに匹敵する加速性能、高速性能をもっている。

△ コロナ・ハードトップのおもな特長

一、わが国初のハードトップ・タイプ——センター・ピラー（中柱）をなくし、前後のウインドウのゆるやかな傾斜とルーフからの流れるような線により、スポーティな感じを強調したハードトップ・クーペでフロント・グリル、リヤ・エンドもサイド・シルエットにあわせて新しくデザインされた。とくにハードトップの特長として、ドライバードと景色の間をさえぎるものは何もなく、パノラミックな視界とコンパティブルに似た開放感が味える。全体としてはコロナのアロー・ラインが生かされつつ、全高が四五ミリ低くなり、さらに美しく個性的なクーペ・スタイルとなつてゐる。

一、広大な室内——フル・リクライニング・バックシートを採用し前座乗客も主作として、後席も広いスペースを取ってありファミリーカーとしても



十分に使用できるほか、リヤ・シート・バックを前に倒すと広いバツゲージ・スペースとして利用できる。また行き届いた室内装備と乗り降りの楽な広いドア、視界の広いウインドなど快適な乗り心地を楽しむことができる。

一、コロナをベースに性能を向上——コロナで性能、耐久性とも実証済みの2Rエンジン（七〇馬力、一五〇〇㏔）を搭載、シヤシー関係もコロナと同じであるが、クローベ・スタイルによる空気抵抗の減少、車両総重量の四〇%減少により加速性能、燃費、登坂能力が向上した。

一、スポーツ性能の向上したハードトップ一六〇〇S——最高級グランド・ツリーング・カーとして本格的スポーツ仕様のコロナ・ハードトップである。エンジンは4R型（九〇馬力、一六〇〇㏔）を搭載、オールシンクロ四段フロアシフトのミッションを採用しており、車両総重量の減少によりSS1.4マイルでは一七・七秒（二人乗車）と加速性能、高速性能は一段と向上した。またスポーツカーのムードを強調するためメーター類は丸型の新設計のものとなり、セーフティベルトが標準装備されたほか、前輪にディスク・ブレーキをオプションで用意している。（なおディスク・ブレーキ付は二万円高）

△価格（各地店頭渡し、スベアタイヤ、標準工具付き）

	東 京	大 阪	名 古 屋
コロナ・ハードトップ	七五八、〇〇〇円	七五七、〇〇〇円	七五三、〇〇〇円
コロナハードトップ一六〇〇S	八四八、〇〇〇円	八四七、〇〇〇円	八四三、〇〇〇円

